



江 田さんがまちなか活性化をミッションとする協力隊の任命を受けた時期は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発出され、各種イベントの中止を余儀なくされていきました。どん底からの協力隊活動でしたが、持ち前の前向きな性格で、江田さんは「市内を知るインプットの時間に費やすことができ、イベント再開のアウトプットに向けてアイデアを練る貴重な時間となりました」と自粛期間を充電期間とプラスに考え、闘志を燃やしていました。

昨年に田沼地区で念願のイベントを開催し、来場者からまちなか活性化についてさまざまな意見を聞いたところ「地域の衰退を感じる一方、何をしたらよいか分からない。何もできない」と活性化を諦めている意見も多く、驚いたといいます。江田さんは「市民皆さん一人一人の小さな変化があれば、大きなパワーとな

キラリ話題の人

むつみ
江田 睦美 さん

佐野市地域おこし協力隊
熱気球パイロット
昨年9月に豪州で開催された「第5回FAI熱気球女性世界選手権2023」に参加



▲アートイベント準備の様子

一人一人ができることから始めてみよう

ります。イベントを開催することで、にぎわいが戻る。参加や協力をしてみたいというちよつとした気持ちの変化が生まれる。外部の来場者でイベントを盛り上げるより、内部（市民）からの発信が活性化に向けた大切な第一歩だと思えます」と協力隊として発信を続けながら、現在もアートイベントやマルシェの開催を手掛けています。

今後について、江田さんは「活性化は長期的に進めるものであり、すぐに結果は出ず、後から評価されていくものです。皆さん一人一人の活性化に対する気持ちの変化が、必ず大きなパワーとなつて返ってきます。私が協力隊の任務を終えた後も、皆さんで活性化の気持ちを発信し続けてくれることが、私の願いです」と佐野市のますますの発展を願っています。

（市民記者 飯田瞬）

ようこそ
市長室からこんにちは！

佐野市長
金子 裕



明けましておめでとうござい
ます。
市民の皆さまには、輝かしい
新春を健やかに迎えのこと
とお喜び申し上げます。
昨年は、4年ぶりに「さの秀
郷まつり」を開催するなど、イ
ベントなどの復活も多くあり、
にぎわいや活気が戻ってきたこ
とを実感できた年でありまし
た。
今年はこの活気を未来につな
げていくための施策を、積極
的に進めてまいります。
まずは、企業誘致ですが、国
道50号沿線において、新たな産
業団地の整備を進めるととも
に、出流原PA周辺総合物流開
発につきましても、産業振興工
リアにおける民間開発を促進す
るため、財政的支援を含めた
総合的な支援を展開していま
ります。また、企業の進出を後
押しするため、土地利用調整
の円滑化を図る「重点促進区
域」の設定など、地域未来投
資促進法などを活用した支援

にも取り組んでまいります。
クリケットについては、オリ
ピックの追加競技に決定したこ
とで、関心が非常に高まってお
ります。佐野市国際クリケット
場を活用した国際大会誘致や、
来訪される各国大使や企業と
の親善交流から、経済、観光
などのビジネス交流の創出につ
なげてまいります。
その他、林道作原沢入線
は、「奥佐野」の新たな観光ス
ポットとして展望台の設置に向
けた具体的な取り組みを進め、
沢入側の群馬県みどり市と林
道を活用した広域での観光ル
ートを検討するとともに、天明
物産を全国、そして世界へ発信
できるように取り組みを進めて
いきたいと考えております。
今年も人とのつながりを大切
にしながらか「進化する佐野市
選ばれる佐野市」を目指した
取り組みを推進してまいります
ので、市民の皆さまのご支援ご
協力をよろしくお願い申し上げ
ます。



①公演チラシ
②当日の様子



影絵はアニメのルーツ 東京造形大学大学院 Hachioji 影絵プロジェクト

江戸時代に始まった「写し絵」は、東京造形大学のある東京都八王子市では「影絵」と呼び、写し絵師の名人・玉川文蝶たまがわぶんちようを輩出、明治～昭和初期には日本有数の影絵の街でした。

影絵プロジェクトは社会連携を目的に2007年スタート。八王子市郷土資料館の「風呂（幻灯機）」を復元し、伝統手法でオリジナル作品を制作、上演、ワークショップを各地で開催しています。公演する土地にちなんだ物語を制作し、昨年は長野県小布施町、そして2023年に佐野市での公演となりました。

昨年6月、制作する学生さんたちが佐野のまち歩きをし、物語の素材を集め、その様子は佐野ケーブルテレビでも放送されました。

そして出来上がったのが「天明影絵綺譚—消えた三日月」というお話です。

「ある夜、佐野の街から月と星がなくなってしまう。困った人々のために、鑄物師たちが美しい三日月を鑄造し……」

佐野でのフィールドワークから生まれた新作の影絵作品です。

影絵は、映像表現の歴史においてアニメのルーツとも言われ、参加者は真っ暗な室内で、像が写る、動くという「幻灯」の不思議を体感し、幻想的な空間を味わいました。

(市民記者 永倉文字)



第2章は唐沢山！ さのあかり～彩る水面と参道～

佐野市の夜の観光として11月から実施した観光スポットライティングですが、出流原弁天池・磯山弁財天に続き、第2章として唐沢山城跡・唐澤山神社が11月25日～12月3日の土日の延べ4日間ライトアップされました。

唐沢山では、見頃を迎えた紅葉をライトアップするようにデザインされ、歴史と自然が感じられるようなライティングとなりました。

会場ではキッチンカーなどの出店もあり、多くの来場者でにぎわいを見せていました。

仮装した参加者も！



子どもも大人も楽しく駆け抜けました！ さのマラソン大会

12月10日(日)、清酒開華スタジアム（佐野市運動公園陸上競技場）周辺にて、さのマラソン大会が開催されました。

今年は、昨年行われた5キロ、2キロ、親子ジョギングの部に10キロ、3キロの部を加え、北は青森県、南は愛媛県など全国各地から多くのランナーの方にご参加いただきました。会場には、佐野ラーメンやいもフライ、佐野黒から揚げなどのグルメブースや市内企業のPRブースもあり、市外の参加者や応援に来た方にも楽しんでいただけるスポーツイベントとなりました。

参加されたランナーの皆さん、お疲れさまでした。